

所属・氏名（薬学部 薬学科 氏名：瀧口 益史）

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1 (著書) 日本薬学会編スタンダード薬 学シリーズII 5 衛生薬学 健康と環境	共著	平成 28 年 2 月	東京化学同人	日本薬学会編集による教科書である。(469 頁) (瀧口益史、他 41 名) 担当部分: SB033 食品成分由来の発がん性物質を 列挙し、その生成機構を説明できる。(pp. 175~179)
2 (著書) 予防薬学としての衛生薬学 -健康と環境- 第3版	共著	平成 28 年 3 月	廣川書店	衛生薬学の教科書である。(509 頁) (瀧口益史、他 11 名) 担当部分: 第 10 章食品の品質と管理(pp. 142~190)
3 (著書) 食べ物と健康 食の安全 改訂 第2版	共著	平成 30 年 12 月	南江堂	管理栄養士の教科書である。(286 頁) (瀧口益史、他 22 名) 担当部分: 第 10 章食品の安全性問題 A 輸入食品 B 残留 農薬のポジティブリスト制 C 無(減)農薬栽培食 品 (pp. 247~257)
4 (著書) コンパス衛生薬学-健康と環 境- 改訂 第2版	共著	令和 2 年 3 月	南江堂	衛生薬学の教科書である。(626 頁) (瀧口益史、他 27 名) 担当部分: 第 10 章食品機能と食品衛生 A 食品の変 質: 炭水化物とタンパク質の変質 B 食品の変質: 油 脂の変敗と変質試験 C 食品の変質に関する因子と 変質の防止 D 食品成分由来の発がん物質とその生 成機構 (pp. 191~211)
5 (学術論文) Cadmium-induced malignant transformation of rat liver cells: Potential key role and regulatory mechanism of altered apolipoprotein E expression in enhanced invasiveness.	共著	平成 29 年 3 月	Toxicology 382:pp.16~23 Elsevier	カドミウムによるがん悪性化にアポリポタンパク 質(ApoE)の発現抑制が関与していることを明らか にした。(8 頁) (Masayo Suzuki, Shuso Takeda, Masufumi Takiguchi, 他 12 名) 共同研究につき本人担当部分抽出不可能。
6 (学術論文) Cadmium down-regulates apolipoprotein E (ApoE) expression during malignant transformation of rat liver cells: direct evidence for DNA hypermethylation in the promoter region of ApoE.	共著	平成 30 年 9 月	J. Toxicol. Sci. 43 pp.537~543 日本毒学会	カドミウムがアポリポタンパク質(ApoE)のプロモーター 領域を高メチル化することで発現抑制していることを示 唆した論文である。(7 頁) (Masayo Hirao-Suzuki, Shuso Takeda, Masufumi Takiguchi, 他 4 名) 共同研究につき本人担当部分抽出不可能。
7 (学術論文) Δ ⁹ -Tetrahydrocannabinol upregulates fatty acid 2-hydroxylase (FA2H) via PPARα induction: A possible evidence for the cancellation of PPARβ/δ-mediated inhibition of PPARα in MDA-MB-231 cells.	共著	平成 31 年 2 月	Arch. Biochem. Biophys. 662 pp.219~225 Elsevier	Δ ⁹ -テトラヒドロカンナビノール(THC)は、PPARαを介して 脂肪酸2-水酸化酵素(FA2H)を誘導することを明らか にした。(7 頁) (Masayo Hirao-Suzuki, Shuso Takeda, Kazuto Watanabe, Masufumi Takiguchi, Hironori Aramaki) 共同研究につき本人担当部分抽出不可能。
8 (学術論文) Repeated Exposure to 4-Methyl- 2,4-bis (4-hydroxyphenyl) pent- 1-ene (MBP), an Active Metabolite of Bisphenol A, Aggressively Stimulates Breast Cancer Cell Growth in an Estrogen Receptor β (ERβ)-Dependent Manner.	共著	平成 31 年 3 月	Mol. Pharmacol. 95 pp.2260~2268 Elsevier	ビスフェノール A の活性代謝物である MBP を反復曝露 するとエストロゲン受容体 β を介して乳がん細胞の成 長を促すことを明らかにした。(9 頁) (Masayo Hirao-Suzuki, Shuso Takeda, Katuhiro Okuda, Masufumi Takiguchi, Shin'ichi Yoshihara) 共同研究につき本人担当部分抽出不可能。
9 (学術論文) Metalloestrogenic effects of cadmium are absent in long-term estrogen-deprived MCF-7 cells: evidence for the involvement of constitutively activated estrogen receptor α and very low expression of G protein-coupled estrogen receptor 1.	共著	令和 2 年 1 月	Toxicol. Lett. 319 pp.22~30 Elsevier	カドミウムの金属エストロゲンとしての影響が長期間エ ストロゲンを枯渇させた乳がん細胞 MCF-7 では見られ なくなることを明らかにした論文である。(9 頁) (Masayo Hirao-Suzuki, Shuso Takeda, Yasushi Kodama, Masufumi Takiguchi, Akihisa Toda, Masahiro Ohara) 共同研究につき本人担当部分抽出不可能。